

## 須崎で奇跡をおこすために ～津波による犠牲者ゼロへの提言～



高知県立須崎高等学校  
校長 秋森 学

### 1 南海地震への備え

本校が立地する須崎市は、南海地震をはじめとする過去の地震により、何度も津波の襲来に見舞われています。東日本大震災でも3メートルの津波に見舞われ、養殖業に大きな被害が出ています。

このような環境の中、平成21年度より、防災教育の取組を開始し、平成24年度からは学校教育目標の一つに「防災・減災教育の推進」を掲げ、重点的に取り組んでいます。

### 2 地域（岡本地区）との連携

東日本大震災の発生により、それまで行っていた防災・減災教育は大きく転換を図ることになりました。

まず、地震発生の際の避難場所を校舎4階から学校の北側にある海拔80メートルの須崎市斎場へ変更しました。そのため避難道の確保が必要となり、地域の方々・生徒・教職員で最初の避難道を自主的に整備しました。さらに、複数の避難道が必要であったため、地域とともに須崎市へ陳情を行い、5本の避難道を整備していただきました。現在は、その避難道を活用して、年間3回の地震津波避難訓練を実施しています。

その他、地域の防災ボランティアリーダーの方を招いて災害時に便利なグッズ作り（簡易トイレ）、避難所生活で役立つ心のケアについて学んだり、避難誘導看板を生徒が作成し、避難道入り口に設置

したりと常に地域と連携して防災教育を実施しています。



岡本地区の方々と一緒に避難道開拓

### 3 須崎市とのパートナー協定

平成22年度には、南海地震への防災・減災教育の取組を具現化するために、須崎市と「のこそう未来の須崎～防災・減災パートナー協定」を締結しました。また、生徒の防災に対する意識の向上と情報発信を目的に南海地震フォーラムを共催するなど、連携した取組を実施しています。

### 4 防災プロジェクトチームの結成

平成24年度には、校内外に防災教育・活動を広げ、生徒の主体的な活動を推進するためにプロジェクトチーム（PT）を立ち上げました。

現在は、すべての防災活動においてPTが中心的な役割を担っています。須崎市総合防災訓練では、応急医療訓練の中で地域住民に応急手当や救急救命法を指導し、実践形式の訓練をしています。

これらの防災活動を通して生徒たちが



南海地震フォーラム須崎市総合防災訓練（応急処置）

防災リーダーへと変容し成長する姿を感じることができます。防災活動の取組はキャリア教育の視点からも大きな教育効果をもたらしています。

【これまでの主な取組内容】

- ※避難路の自主開拓および整備
- ※南海地震フォーラムの開催
- ※中・高・地域合同避難訓練
- ※津波防災学習用冊子の作製
- ※避難道誘導看板の制作・設置
- ※非常持ち出し袋の作製・設置 など

## 5 須崎市へ減災対策の提言

平成26年度に須崎市内の地域調査を行い、新たな減災対策をまとめ、須崎市に提言しました。

この提言書は、人々の防災への意識を変え、津波による犠牲者ゼロをめざし、災害を乗り越えられる人・町づくりを目指すために、高校生の視点で気づいたことを提言としてまとめたものです。

提言書（須崎で奇跡をおこすために～津波による犠牲者ゼロへの提言～）の主な内容は以下のとおりです。

- ※避難誘導看板を蛍光塗料へ変更
- ※避難道の危険個所の補修
- ※防災意識啓発のためのCM作成
- ※旅行者等に配慮した看板設置

※高齢者宅の家具転倒防止金具の取付補助

現在、CM作成（市長も参加）が完了し、地元のケーブルテレビで放映されています。今夏には、岡本地区と連携して、高齢者宅の家具転倒防止金具の取付も実施する予定です。

これらの取組の積み重ねが災害時の人的被害を限りなく少なくすることに繋がると考えています。



須崎市長への提言書授与

## 6 今後に向けて

これまでの取組が評価され、第19回防災まちづくり大賞において「総務大臣賞」を受賞することができました。ご支援いただいた方々に感謝申し上げます。

これからも地域や須崎市と連携・協力の下、防災・減災教育を推進するとともに、防災リーダーの育成を念頭に、地域で活躍できる人材を育成することで、地域に貢献したいと思っています。



須崎市内の地域調査の様子